

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 13 - 1

事業分類		<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 3		作成日 30年 6月 13日		
事務事業名 交通安全対策経費				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	1 安全・安心なまち		課名	建設課	係名	土木係	
		1-1 安全・安心のまちをつくる		シート作成者				
	施策	1-1-2 交通安全・防犯対策の充実		予算費目	会計	一般		
					款	2		
主要施策	②安全な道路環境の整備・維持		項		1			
			目		11			
個別計画名								
住民との関わり		施策・事業評価における住民の意見の反映						
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）				
	住民（歩行者、ドライバー）、通過・来訪者			安全に通行が出来る道路環境の整備				
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		ガードレール、転落防止柵、カーブミラー等の設置。また、ライン表示等により安全を確保する。						
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
根拠法令・要綱等		道路法						
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B		0		5,676		7,730		
財源内訳	国庫支出金	0		0		0		
	県支出金	0		0		0		
	地方債	0		0		0		
	その他特定財源	0		2,879		3,048		
一般財源		0		2,797		2,636		
直接事業費（千円）A		0		5,676		5,684		
人件費（千円）B		0		0		2,046		
内訳	一般職員（人・千円）	人	0	人	0	0.31人	2,046	
	臨時職員（人・千円）	人	0	人	0	人	0	
成果指標	成果指標名		単位	28年度		29年度	30年度	
				目標	実績	（目標）	（目標）	
	①	町内交通事故（人身、物損）件数	件	↓	667	↓	↓	
	②	◆町の交通安全対策についての満足度	%	37.5	25.4	-	-	
③								
説明		前年度の交通事故件数を基に成果指標（目標）を設定した。（実績 人身63件、物損604件） ◆は平成32年度にアンケートを予定しています。						

事務事業評価シート1-2

事務事業No. 13 - 1

事業名 交通安全対策経費 シート作成課 建設課

一次評価者 建設課長 二次評価者 建設部長

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	住民の生命・身体と財産を保護するという地方自治体の責務を果たすために必要です。
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	事故発生の抑止、歩行者等の安全確保に有効な手段です。
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	設置要望箇所については、概ね完了しているが、予算が限られているため、必要性が低いと判断される場所については啓発活動などにより対応しています。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所等への配慮など地道な事業の積み重ねです。道路の草刈は、自治会に協力いただき委託を一部行っています。

本事務事業の実施適切性の説明

交通安全施設の整備は、自動車社会において人命や財産を守るためにも必要不可欠でありまた、本施策においては、低コスト高効率での事業推進を心がけており、シルバー人材センター等の活用を行うなど今後も継続し事業を実施します。

一次評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	評価	4	4	3	4	⁸ B ⁷ ⁶ D
今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
今後の改革・改善目標	自治会や地元との協議により、効果的な施設整備に努めます。					

二次評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	評価	4	4	3	4	⁸ B ⁷ ⁶ D
今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
コメント	安心安全のまちづくりのため、危険箇所については早急な対応が重要であります。					

二次評価に対する課の考え方

参画協働の今後の方針 いつから 平成 年度から 1 現在の手段を継続する